

## 政策評価調書(22年度実績)

政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進		政策の目的等	身近なごみ処理の問題から地球環境問題まで、極めて広範囲にわたる環境問題に取り組むことが求められている現在、本県の恵み豊かな天然自然に磨きをかけ、さらに輝かせる行動を県内各地域で起こし、全国に誇れる美しく快適な大分県を創造する県民運動である「ごみゼロおおいた作戦」を推進する。	主管部局名	生活環境部
	政策コード	I-1			担当課室名	生活環境企画課

### 【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	人間のあらゆる活動が自然の復元力を超え、環境の悪化とそれに伴う脅威は増大し続けており、社会経済システムやライフスタイルを環境に調和したものへと変革し、人間生活の存立基盤である地球の環境・生態系に対する影響を最小限に抑えながら持続可能な地域社会を構築することが急務となっている。 このようなことから、近く制定予定の地球温暖化対策基本法に基づく政策を背景として、環境先進県の実現を目指して大分県独自の施策を積極的に推進するほか、廃棄物・リサイクル対策を推進するとともに、環境教育や普及啓発事業の推進等により、県民の環境保全意識の高揚を図り、環境負荷低減に向けて、自主的、社会的、継続的な活動の実践を促す。 そのような実践行動が、豊かな自然との共生のあり方を検討する機会となるとともに、環境技術の開発につながることで、持続可能な社会づくりが進展していく。
-------	--

### 【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	達成	現状維持	○
2	循環を基調とする地域社会の構築	達成	現状維持	◎
3	地球環境問題への取組の推進	達成	拡充	◎
4	環境産業の育成	達成	現状維持	○
5	すべての主体が参加する地域社会の形成	達成	拡充	◎

### 【構成する施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」見直し策定委員会(平成23年5～7月) ・大分県の特徴である温泉の資源を適正に使用するように更に推進したらどうか。 ・安全・安心のエネルギーの確保は大切ではないか。 ・大分は自然エネルギーがすごいので、それがどこでも有効活用できる術を考えていく必要がある。 ・全国のモデルとなるようなエコ教育を取り組んだらどうか。 ・地球環境問題の指標として、太陽光発電や風力発電量などを入れたらどうか ・低炭素社会へ推進のため、CO2の削減などに関する指標を追加したらどうか。 ・フロンガスなどの回収率の指標は見直した方がいいのではないかと。 ・環境教育・学習の推進の指標については、知識を深める講座の実施や受講認定者数などを追加したらどうか。 ・マイバッグ運動の指標として、レジ袋削減枚数を入れるなど県民にわかりやすい指標をいれたらどうか。	○ごみゼロおおいた作戦県民会議(平成23年6月) ・環境指標でCO2排出量が2年連続でC判定となっている。家庭、業務、運輸部門の総合での評価になっているので少々理解し難いので、各分野ごとの目標値をだしてはどうか。方策を出して成果を出して欲しい。 ・国が確固たる新たなエネルギー政策を作らない限り、具体的な指針は難しいと思うので国の新エネルギー政策が発表されれば、訂正をいれてはどうか。 ・大分で盛んである地熱エネルギーの導入促進なども計画に盛り込んで。 ・環境指標にエコアクション21を追加して欲しい。 ・環境指標「大分県リサイクル認定製品地方公共団体利用件数」が平成27年度の目標値をクリアしているため、目標値の見直しが必要。 ・5月29日付けの大分合同新聞で「マイ容器を広めよう」の記事が出ており、大変期待し成果をあげるよう運動展開が肝要である。具体性のある施策を追加してはどうか。
---	---